

世界遺産アカデミー認定講師 File No.31

このコーナーでは、世界遺産アカデミーの啓発活動にご支援いただいている世界遺産アカデミー認定講師の方に毎回スポットを当てて、お話を伺います。第31回目の今回は、海外ツアーのフリー添乗員の傍ら、関西エリアの学校で世界遺産検定のガイダンスをご担当されている、滋賀県在住のWHA正会員の大家正博(おおつか・まさひろ)さんです。

——接する機会の多い、世界遺産

世界遺産の知識を得てから旅行すると、同じ場所でも見え方や感じ方がまったく異なって、満足度が格段に高まります。以前、カルチャーセンターでそのようにお話しした際、ご高齢のご婦人から、「世界遺産が好きで、今まで何十回と海外旅行してきたけれど、この講座を受けてから行きたかったわ」と、嬉しいご感想をいただきました。シニア世代の方々は知識の習得に貪欲で、とても教え甲斐があります。世界遺産検定というテストの存在に興味を持たれる方も、とても多くいらっしゃいます。

私自身が世界遺産に興味を持ち始めたのは、旅行業界での仕事柄、海外企画商品(いわゆるパッケージツアー)の造成

や、海外手配商品に携わっており、世界遺産の黎明期から世界遺産と接する機会が多かったからです。既に海外の有名な観光地の多くが世界遺産に登録されていて、「世界遺産を訪ねる」と銘打ったツアーは人気を博しました。10数年前には、カルチャーセンター主催の「世界遺産巡礼の旅～仏教の源流を訪ねて～」という企画を行い、添乗も担当しました。世界遺産訪問が定番コースとなり、海外添乗は200回を数え、海外添乗日数も1,000日を超えていた頃、「世界遺産検定」の存在を知り、今までの知識を試してみたいとなったのです。とはいつても、当時は出張や添乗で仕事が忙しく、受検申込すらできずに、勉強を一時中断していた頃もありましたが、何とか退職前にマイスター資

格を取得し、退職直後に認定講師となりました。



グランドキャニオンでは、荘厳な朝日と夕日を楽しむため、公園内のロッジに宿泊

——世界遺産を伝える側から、取り組む側へ

2015年末の退職後は、若い頃からの夢



古都ルアン・パバンでは、毎日早朝から、多くの僧侶が托鉢に回ります

だった JICA のシニア海外ボランティアを目指していましたが、なかなか希望する派遣要請を得られずにいました。長年、旅行会社に勤めていたこともあり、夢を叶えるためにも、世界遺産に関わる仕事を続けたいと、生涯現役を決意。現在は、フリーの添乗員として世界遺産を巡る旅の添乗業務や、WHA 認定講師として講演活動を行っています。認定講師としては、関西地区の大学でのガイダンスなど、観光系専門学校や旅行会社から直接の講座依頼を受けることもあります。学生は、学年によって反応が異なるのが面白いです。就職を間近に控えた3年生や専門学校生は、「履歴書に書ける資格は、学生時代に目的意識を持って勉強をしてきたと客観的に判断されますよ!」と、人事関連業務や採用面談の経験話をす

ると、寝ている学生も起きますね(笑)。また、最近では、彦根商工会議所主催で、「彦根城を世界遺産に!」を主目的としたセミナーや検定対策講座を行っています。知識をお伝えするだけの講座ではなく、彦根城を世界遺産にするために地域として何をしていくべきか、世界遺産を通じた地域活性化とは何か、を主題としています。私もひとりの滋賀県民として、地元有力者や市役所の方々と、どうすれば世界遺産の機運を高められるのかを議論し、商店街に世界遺産登録を目指すポスターも提案。やはり地元住民が主体となった政官財一体化のムーブメントが必要なのだと思います。

——心がけているのは、臨場感のある講義

海外を訪れる際は、必ず訪問国の「暫定リスト」に注目し、可能な限り、足を運ぶようにしています。時には、自分が ICOMOS や IUCN の調査員になったつもりで、暫定リストが世界遺産登録されるかどうか判断するゲームを楽しんでもいます。もちろん既存の世界遺産が素晴らしいことは言うまでもなく、歴史地区や旧市街などの、“点ではなく面”で登録されている場所に、興味を惹かれます。世界遺産登録されている場所では、特に、プライベートでも何度も行った、ラオスの『古都ルアン・パバン』。豪華絢爛な建造物や息を呑むほどの絶景というわけではありませんが、フランス植民地時代に建てられたコロニアル様式のホテ

ルに泊まり、早朝から托鉢の僧侶に喜捨をし、雄大なメコン川の流れを眺めているだけで、とても癒されます。人生に疲れた方におススメです(笑)。

世界遺産の勉強を始めると、今まで学校で習ってきた世界史や日本史、地理、宗教のみならず、自然環境や生態系といった自然科学的視野との繋がりも、広がっていきます。と同時に、観光地化の功罪や持続可能な観光開発といった諸問題にも敏感になり、WHA 認定講師として、複雑な話題も易しく丁寧に伝えてきたいと思っています。世界遺産に関する放映番組や旅番組、クイズ番組は必ず録画しますし、何気ないニュースも見逃せません。月に1、2度は、フリーの添乗員として、世界遺産巡りのツアーに出かけているので、現地で撮影した写真を使いながら、直近の話題を取り入れた臨場

感のある講義にしています。皆さんが導入しやすく、興味を持っていただけるよう、これからも楽しい講義・講演内容を心がけていきたいと思っています。



ポン・デュ・ガールの説明では、古代ローマ時代の歴史背景や建造技術だけでなく、今年審議予定の暫定リスト「ニーム」まで広がりをもたせませ、と大家さん